



ひろしまの力

新たな可能性を見出す
企業コラボ

シリーズ座談会③

シリーズ第3弾は、神辺町商工会青年部の会員企業3社によるコラボ事例をご紹介。それぞれの強みを発揮し、軽自動車をベースにしたキャンピングカー(軽キャンパー)製作に挑む日々を語っていただきます。

“オール神辺”で 軽キャンピングカー づくりに挑む

神辺をイメージした試作車からコラボ事業化へ急展開

「コラボのきっかけは



写真右から佐藤さん、小林さん、近藤さん。チームで仕事をするのは初めてながら、神辺町商工会青年部の先輩・後輩として共に活動してきた仲だけに思はぴったり。3人が手がけたダイハツ・アトレーをベースにした軽キャンパー「クロスフィールド」は、12個のボックスを組み替えてシート配置を対面式にしたり、テーブルを囲んだり、フルフラットのベッドにもできる優れモノ。「自分一人では成し得なかった」と口を揃える会心の出来だ。

佐藤 2年前に軽トラ・箱バン専門店をオープンしたときに、他店とは違うおもしろいことをしたいと思、神辺町出身の漢詩人・管茶山をイメージした畳や木を使った和風キャンピングカーを近藤くんに協力してもらい試作しました。それをYouTubeにアップしたところ、岡山の軽キャンピングカー専門店から「本格的に製作していないか」とオファーがあり、商工会青年部で旧知の小林くんを仲間に引き入れたわけです。

小林 元々キャンピングカーが好きで、修理や装備品の後付けなどは以前からうちでも手がけていましたから、「一緒にやらないか」と言われた時は「はい」と即答です。

近藤 うちの主力は創業以来、仕出し弁当などに使われる折り箱ですが、木の加工技術を活かして事業領域を広げる方法を模索していましたので、お誘いは絶好のタイミングでした。

試行錯誤しながら遂に完成するも、思わぬ事態が発生

「製品化で苦労した点は

佐藤 キャンピングカーは通常1ヶ月に新製品をリリースするのですが、昨年9月から製作を開始したので、製作期間はたったの3カ月程度。オファーをくれた専門店の社長から売れる軽キャンパーのポイントを助言してもらいましたが、3人でああでもないこうでもないと試行錯誤しながらの船出でした。

小林 私がエアコンや電気系統などの電装、近藤さんが内装、佐藤さんが事務手続きや販売を担当。

近藤 一番大変だったのは本業の折箱製造の繁忙期でもあった近藤さんで、どちらの納期も迫ってきた年末は荒んだ雰囲気でしたよね。笑顔な滑り出しと想いきや2台目に取りかかったところで、温度・湿度の変化で内装の木材に縮みが出来たことが一台目のデモ車が完成しました。すぐに注文があり、好調な滑り出しと思いつつ、年明けになんとか一台目のデモ車が完成しました。佐藤さん、小林さん、近藤さん、3人で修正できたのは幸いでした。

佐藤 最初に大きい壁にぶち当たったことで、よりよいものが出ています。完成度の高さは2人の工夫と努力の賜物です。

佐藤 もどんどんどん増えてますよね。状況に満足せず、お互い進化していくたいね。

株式会社 近藤

福山市神辺町八尋1851-1
☎ 084-966-0010



有限会社 ピュアオート
福山市神辺町川北1107-7
☎ 084-962-2804



軽バンバン 新湯野店
(有限会社 東洋自動車商会)
福山市神辺町新湯野1-14-2
☎ 084-966-3680



自動車の修理・販売業を営む東洋自動車商会が2021年4月にオープンした軽トラ・箱バンの専門店。自社制作の動画チャンネルも人気。

Project Team

佐藤 これまでにデモ車2台を含む15台を手がけ、すでに完売。1台を作り上げるのに、約1カ月かかり、納車は1年待ちの状態。今は生産性を上げるのが課題ですね。

小林 ずっと夢だったオリジナルのキャンピングカーづくり。専門店の社長の助言はすごく勉強になりましたし、部品・部材の入手率とも拡がり、自社の事業にも大いに役立ちそうです。

モットーは行動あるのみ。実際に行動することでしか変化は起きませんから。いざなはコラボ事業のきっかけとなった試作車を実用化して神辺町のPRに活用したりと新展開も構想中です。



有限会社 東洋自動車商会
代表取締役
佐藤 公泰さん

X-FIELD



街乗りでも違和感のない外観だが、内部はまるでログハウスのような空間！全面木張りの内装には天然杉を用いているので木の香や温もりに癒される。